



郵便
報知新聞
 第五百壹号

陸前國氣仙郡高田村の於才松の
 姉妹ハ幼クして兩親を失祖母が手許
 あれど其家貧乏に於て兩人申合共
 塩釜の遊女屋田中の方へ身を任せ居
 居しが明治四年東京の高白石某
 が女を逗留中惡漢に誘われ一度博
 奕を博すと忽ち負て幾多の借財を
 負し悪者共ハこれに赤裸うて
 猶罵るものなり於才ハ己が年季
 借書入金子を才覚し白石が借書
 一兩用迄与へて白石は大よほこ
 礼を述べて歸京の右再び塩釜に到り
 才を請出して其家へ送り歸せし
 才一旦恩を受然く忘却せざる
 稱慶すべきの人々あり



大福
 彫刻
 金銀堂

